授業で扱った練習問題をリスト化しました。

教科書の問題は教科書に答えが載っています。（演習問題の答えは巻末です！）

解説は少ししか書いていません、すいません。参考程度にお願いします。

【プリント　疫学（１）】

Page17

例題２－４（p.22）

解説：有病率は病気を持っている率。致死率は病気になってすぐ死亡する率。すなわち、有病率が高い病気は致死率が低い。

例題２－５（p.23）

解説：ｄ…例えば死亡率は医学の進歩で変化するので、罹患率の方が疾病の発生要因の研究に適する。

演習２－３（p.24）

演習２－５（p.26）

　解説：疫病頻度は患者数/人口の率で表す（プリントp.9）

例題１－３

　答え：リスクが高いと言えない

解説：農林・漁業作業者の人口が全体の中でどれだけ多いかがわからないから。

Page19

例題２－３(p.21)

　解説：「Ｈ２５の過去問題より(2)」に載っています。

Page21

例題２－１（p.20）

解説：(１)…一次予防とは⇒教科書p.10参照。病気の発生を予防する。

例題２－２(p.21)

演習２－１（p.23）

　解説：(１)…陽性という結果をたくさんの人に出すと、２次検診にたくさんの人が来る。

Page24

例題３－１―①（p.29）～例題３－３―③（p.37）

【プリント　疫学（２）】

Page7

演習４－２（p.56）

　解説：患者じゃない家庭がどのくらいインコを飼っているか情報がないため。

演習４－３(p.56)

　解説：相対危険の近似値＝オッズ比

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 患者 | 対照 |
| 診断　陽性 | ４８０ | ３００ |
| 診断　陰性 | ２０ | ２００ |

　よってオッズ比＝４８０/２０÷３００/２００＝１６

演習４－４（p.56）

例題４－４

　答え：よくない

　解説：これは横断研究なので、原因・結果か分からない。

Page10

演習２－４（p.25）

Page11

例題５－３(p.64)

　解説：「Ｈ２５の過去問題より(4)」にも載っています。

対策をすると最も罹患率が減るのが疾病Ｂ、喫煙と発病の因果関係が強いのが疾病Ａ。

例題５－４（p.66）

Page12

演習５－３（p.68）

演習５－５(p.69)

解説：「Ｈ２５の過去問題より(３)」にも載っています。

（４）…ケース＝患者数。病気の頻度は率で表される。この文は、縦軸が人数であるため、標準服用量のところの人数が多くてあたりまえ。

（５）…用量・反応関係は３群以上で比較する。これは２群比較なので違う。